

良いモノをつくることは一生懸命考えること



人間は知恵を出す、単純作業は機械で補うという機会哲学

戦を続けた。非常開放面格子「ガードボーイ」、ブラインド面格子「オムニガード」シリーズ、「光天井」シリーズ、「Z-STEM」といった自社製品に加え、02年から松下電器産業のプラズマテレビアルミシャーシの製造に着手した。

未来を信じる力

それまでの設備ではアルミシャーシ製造に対応できなかったため大規模な設備投資を行う必要があった。まだプラズマテレビが普及しておらず、先がわからない状況であったが、当時の松下電器産業の中村邦夫社長の想いを信じた。

新たな挑戦
岡田健氏は2000年に松本金属株式会社の代表取締役社長に就任した。
それまでは初代社長・松本治男氏の方針によりドロック製品を中心に製造していたが、二代目社長は競争社会を生き抜くための挑

「見えないもの（未来）が上手くいくかどうか不安で辛けれど、思ったことを叶えられると信じて一生懸命考えて動くだけ」と岡田氏は言う。

その思いが伝わり、部署に関係ない全社員の徹夜作業が連日行われた。手作業で機械を合わせ、地道に問題を一つずつ、かつ他社にはない早さで改善していった。「慎重に熟考し、決めたら一気に行動する（クイック・レスポンス＝即時応）」という岡田氏のポリシーが社内全体に浸透しているのだ。その甲斐あって、いまではプラズマテレビ用のアルミシャーシは同社の主力製品となっている。

創造力の原点

こうした大きな転機に際しても、苦勞を感じたことはない岡田氏は言う。「良いモノをつくるために一生懸命やるのは当然であるし、必死になってやっとできたモノでもできてしまえばたかがそんなもん。だからその努力を人に認めてもらいたいのを認めてもらえない、と文句を言う前にもっともつと考えていまより良いモノをつくる」岡田氏の言葉にはモノづくりに対する尽きることはない向上心を感じる。

岡田氏は徹底的に「考える」とどこにこだわる。「どうすればお客様が喜んでくれるか？ どうすれば自分も社員も幸せに暮らしているか？」自問自答を繰り返す。



岡田氏が頑張る理由は、客からの「ありがたい」の声が嬉しいからだと言う。その声を聞くためには世の中に認めてもらえる品質の良いモノをつくらなければならぬ。人間の目に見えない部分の自動化を図ったり、現場の細かい改善を行ったりという積み重ねが同社の技術力に表れている。



「一生懸命」がポリシーの代表取締役社長 岡田氏（上列左から2番目）

編集部／河合研斗

Company Profile

松本金属株式会社

所在地：兵庫県西宮市西宮浜 4-6-8
TEL：0798-36-1690 FAX：0798-36-0612

担当者：営業部 松本敏行

事業内容：薄型テレビ用シャーシ、薄型テレビ用スタンド、建築設備用配管ダクト、クリーンルーム用フロア、アルミダイカスト製品、住宅用面格子など

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?79348>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「松本金属」で検索できます。



会社情報